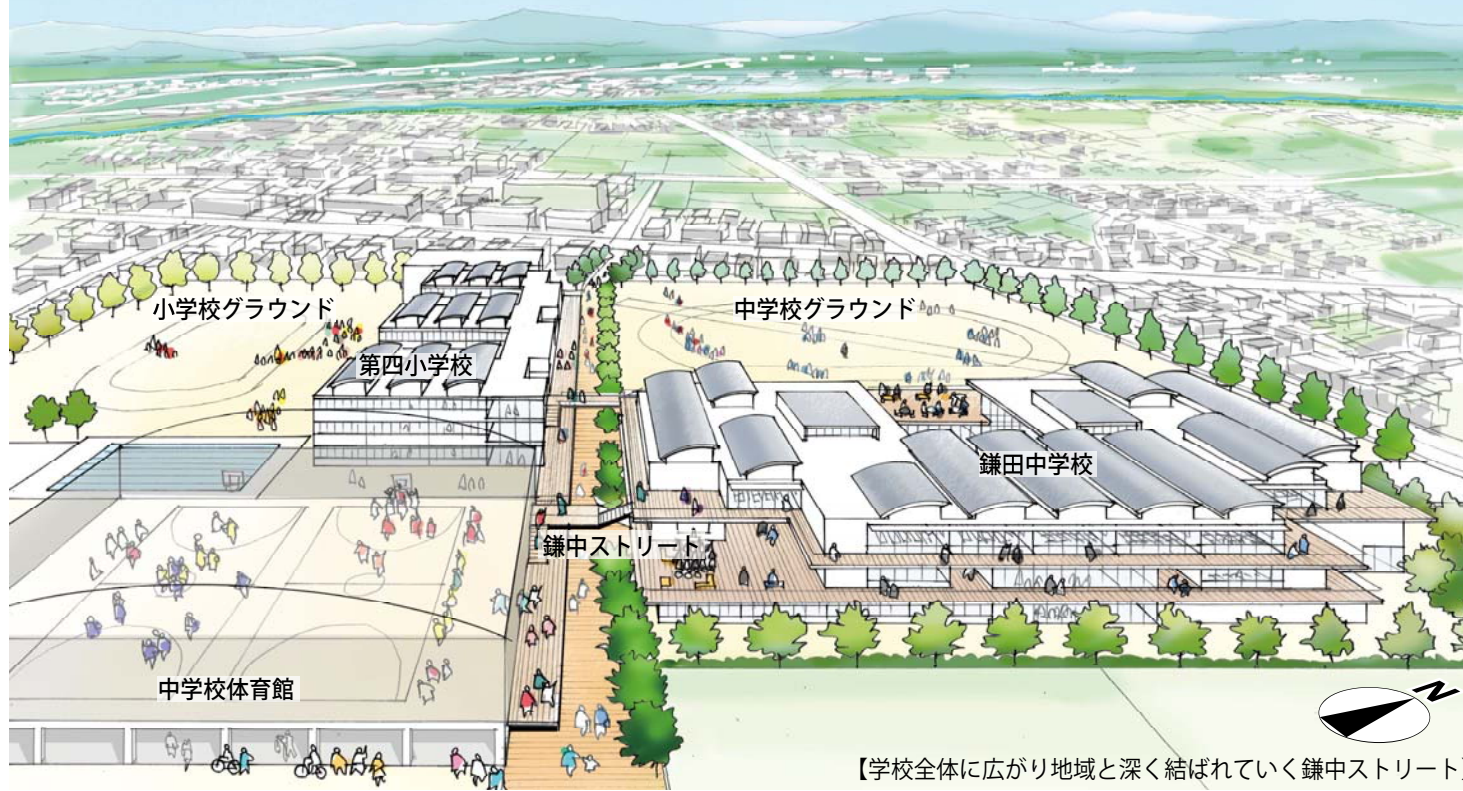


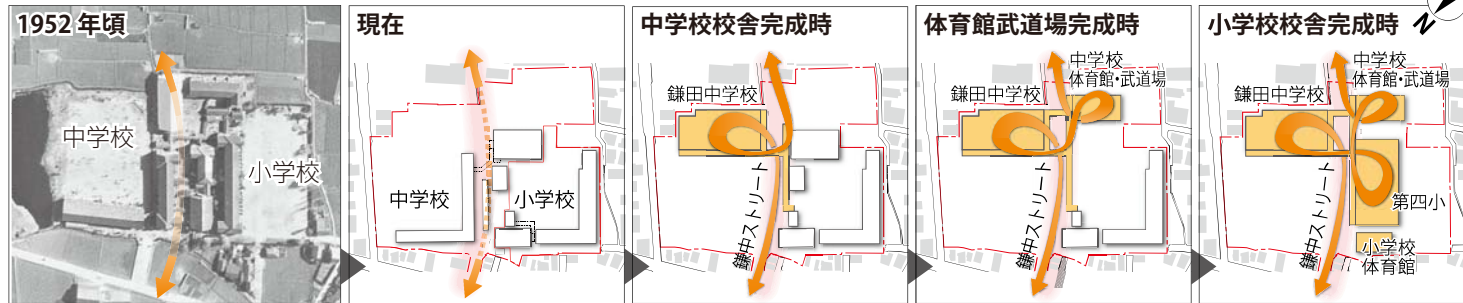
特定テーマ(3-1) 将来の鎌田中学校の屋内運動場・武道場、さらには隣接する第四小学校の建替え(建替えマスタープラン)

鎌中ストリートは深めあい絡みあいながら学校と地域を結んでいきます



【学校全体に広がり地域と深く結ばれていく鎌中ストリート】

発展する鎌中ストリートの輪

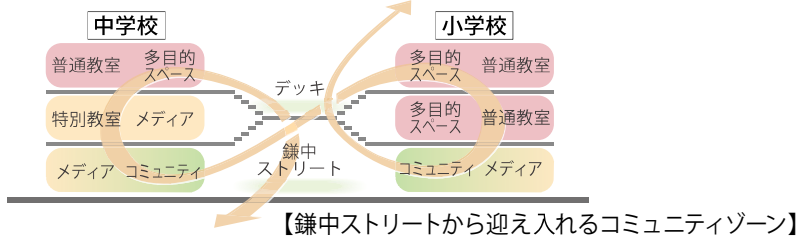


【発展する鎌中ストリート】

単に抜けるだけであった鎌中ストリートは、学校内に深く入り込み、立体的に絡み合うリボンのように発展し、建て替えが進むにつれてより強く学校と地域は結ばれていきます。

鎌中ストリートから人々を自然に迎え入れる

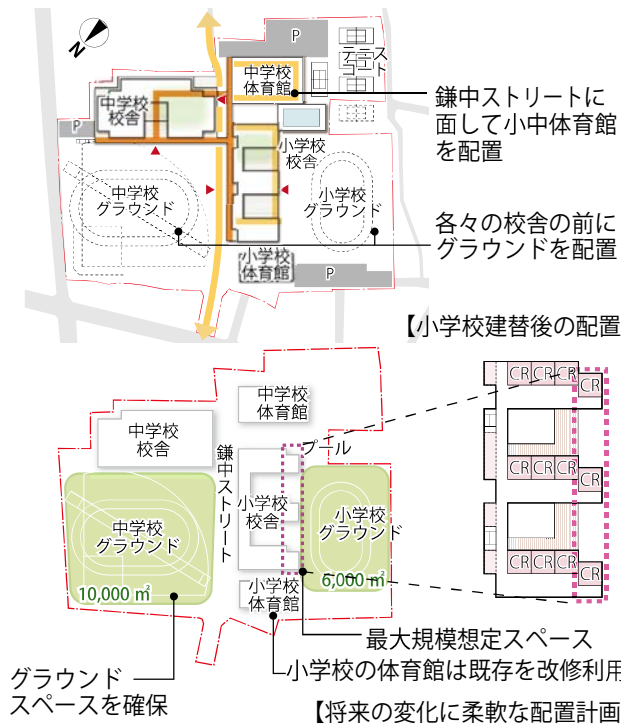
立体的な鎌中ストリートに沿って、コミュニティゾーン、小・中学校、体育館が配置され、地域にとって身近な存在になります。



【鎌中ストリートから迎え入れるコミュニティゾーン】

最大規模の小学校も想定した将来配置計画

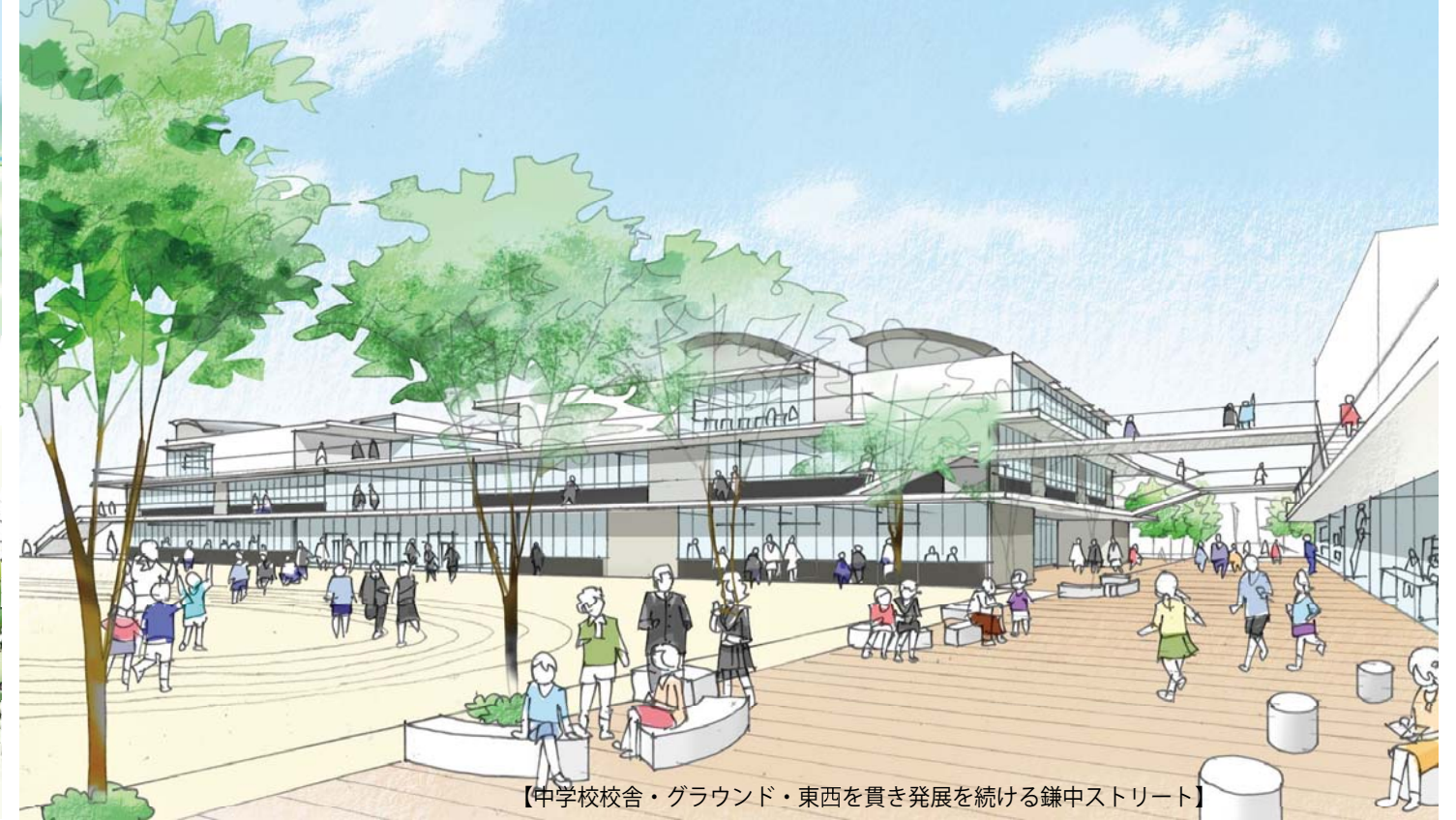
- 少子化により、2つの小学校が統合して第四小学校が現状の規模より拡大した場合も想定します。
- その場合でも、中学校のグラウンド(10,000㎡)と小学校のグラウンド(6,000㎡)が確保できる計画とします。
- 小学校の体育館は比較的新しく構造も現行基準に適合しているため、改修して利用します。



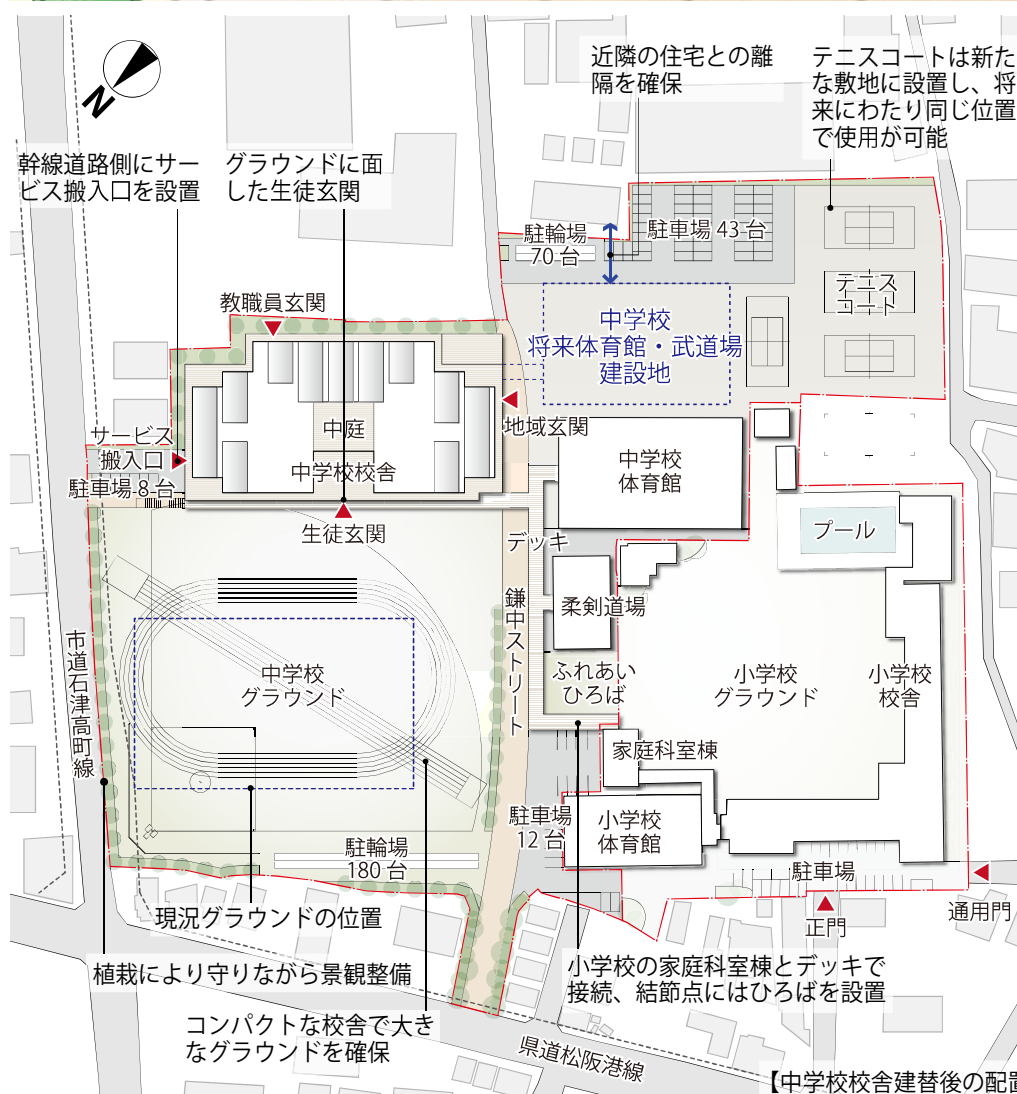
【小学校建替後の配置】

【将来の変化に柔軟な配置計画】

特定テーマ(2) 鎌田中学校の建て替え校舎の具体的な空間構成(土地利用構成及び建物構成)

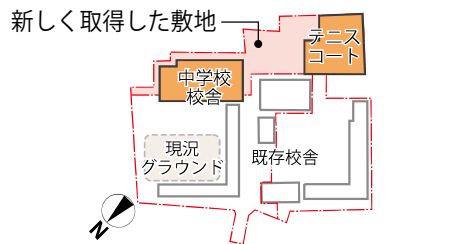


【中学校校舎・グラウンド・東西を貫き発展を続ける鎌中ストリート】



新たな敷地を有効活用し現状のグラウンドを維持して建設

新しく取得した敷地にテニスコート、中学校校舎を建設することで工事中も現状のグラウンドをそのまま使用することができます。



【新たな敷地を活用した配置】

今回工事部分は将来再度工事しない計画

今回工事で整備するテニスコート、中学校校舎、グラウンド、駐輪場は中学校体育館、小学校校舎建設に影響なく将来にわたり同じ位置で使用することができます。

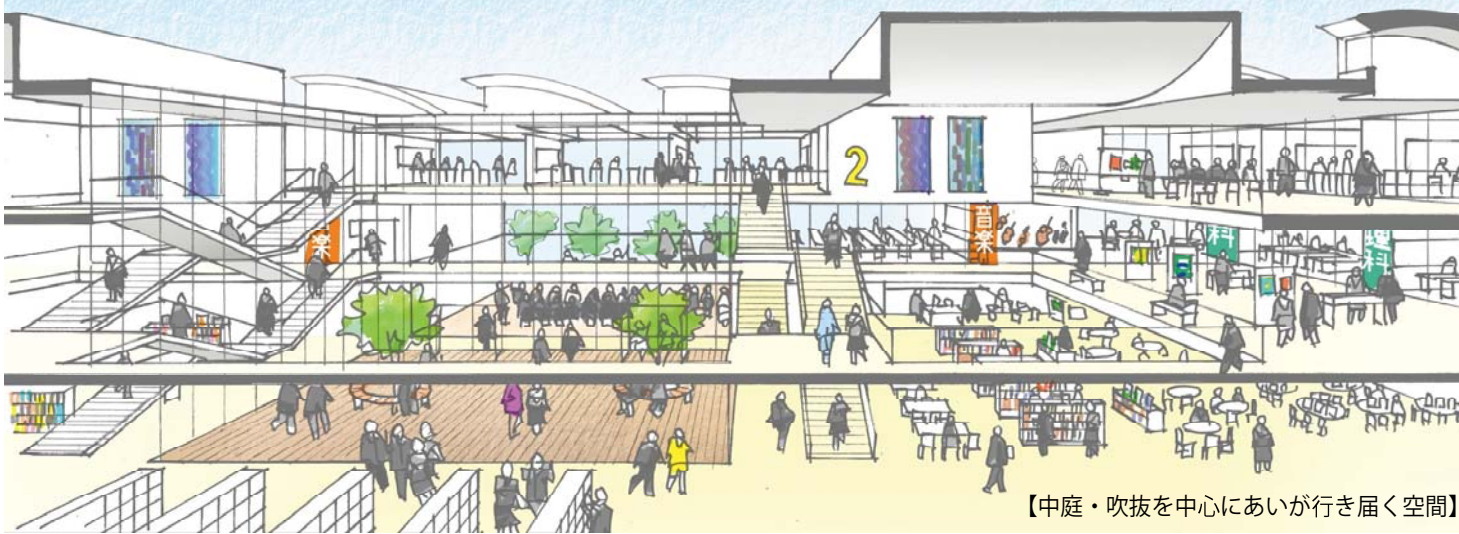
既存小学校とデッキで接続

鎌中ストリート沿いにデッキをつくり、中学校校舎と中学校体育館、小学校校舎を結び、小中連携を促します。

地域の利用頻度が高い小学校の家庭科室と中学校とを結ぶことで、中学校のコミュニティゾーンと合わせて地域参加の促進を図ります。

特定テーマ(2) 鎌田中学校の建て替え校舎の具体的な空間構成(土地利用構成及び建物構成)

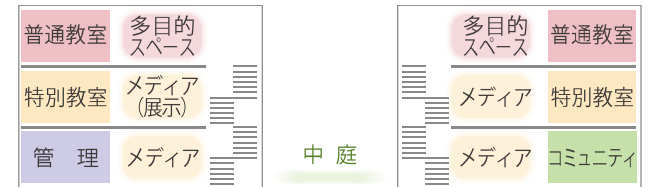
「学びあい・関わりあい・守りあい」すみずみまで、あいが行き届く鎌中を目指します



【中庭・吹抜を中心にあいが行き届く空間】

中庭・吹抜を望む回遊動線でもどこに行くにも近い構成

- 中庭・吹抜を校舎の中心に置き、各階に配置したメディアスペースや多目的スペースを通して視覚的にも一体感のある構成とします。
- 長い廊下が少なく無駄のない合理的でコンパクトな平面計画で、全ての部屋が近くあって目が行き届く安全な学校です。

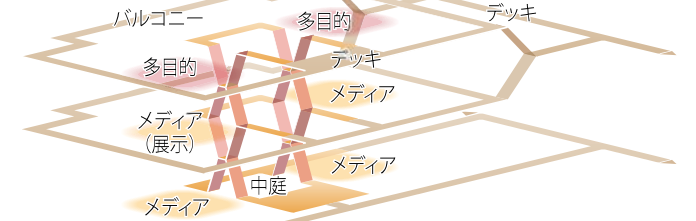


■ スクールゾーン ■ コラレーションゾーン ■ コミュニティゾーン

【中庭・吹抜を中心とした構成】

どこでも階段・どこでもデッキ

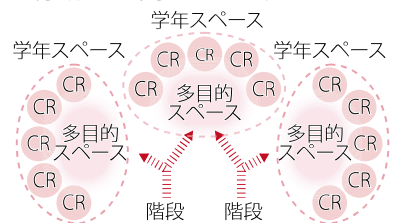
- 中庭と吹き抜けに面した位置に階段を配置し、縦方向の回遊性も高めます。
- 将来、体育館・小学校とも結ばれる鎌中ストリートを想定し、各階のグラウンド側にデッキをつくります。
- 2階3階の外周にもバルコニーを回し、回遊性と安全性を高めます。



【オープンスペースを結び回遊性を高める階段・デッキ】

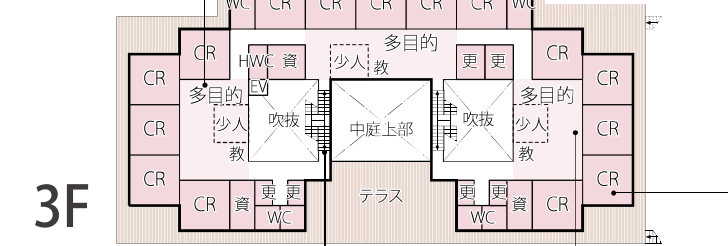
3階: 普通教室は全て最上階に配置

- 学校専用の普通教室は全て最上階に配置します。
- 多様な学習展開に対応する多目的スペースは普通教室に面した中央に設け、開放的で有効な空間とします。
- 各学年のスペースは同一階にありながら、階段から各々に行ける構成とし、お互いに影響の少ない学年のまとまりをつくります。



【学年毎にまとまりのある普通教室】

普通教室の中央にある多目的スペース



各学年のスペースに直接アクセスできる階段

建替え後の体育館・武道場とつながるブリッジ



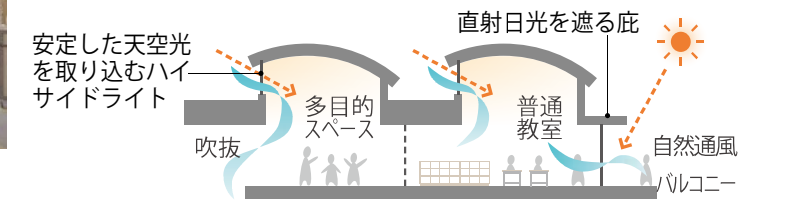
最上階で全ての教室に自然採光と広がり感を与える天井のイメージ



中庭や吹き抜けに面した多目的スペースのイメージ

自然採光・自然通風を確保した普通教室、多目的スペース

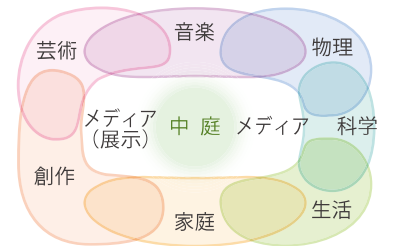
- 最上階の普通教室、多目的スペースは、自由な屋根形状により、自然採光、自然通風を確保しながら生徒の快適な居場所をデザインします。



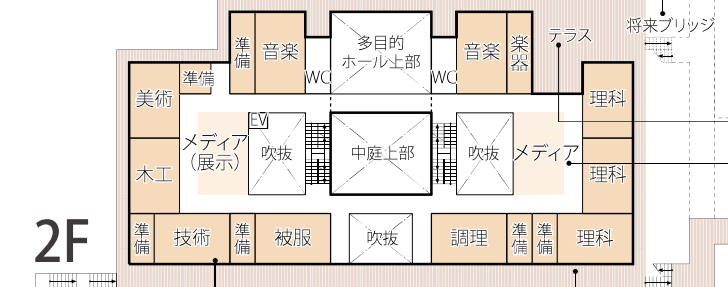
【自然採光・通風を確保した普通教室】

2階: 特別教室はすべて2階に配置

- 全ての教科の関連に配慮し特別教室は2階にまとめます。
- メディアスペースを中心に関連する教科を隣接して配置することで、教科の枠を超えた総合学習の場となります。
- 2階全体もメディアスペースを中心とした回遊性を確保し、上下階とも有効につながります。



【関連する教科が隣接する特別教室】



普通教室からもコミュニティゾーンからもアクセスしやすい特別教室

将来小学校と2階レベルでつながるデッキ



特別教室に面して有効活用されるテラスのイメージ



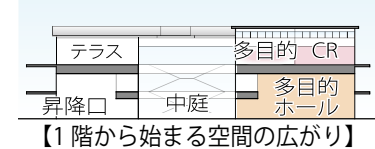
吹き抜けに面するメディアスペースのイメージ



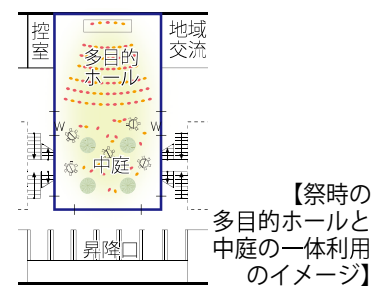
【全ての空間がつながる中央空間】

1階: 広がり一体感のベースとなる1階の構成

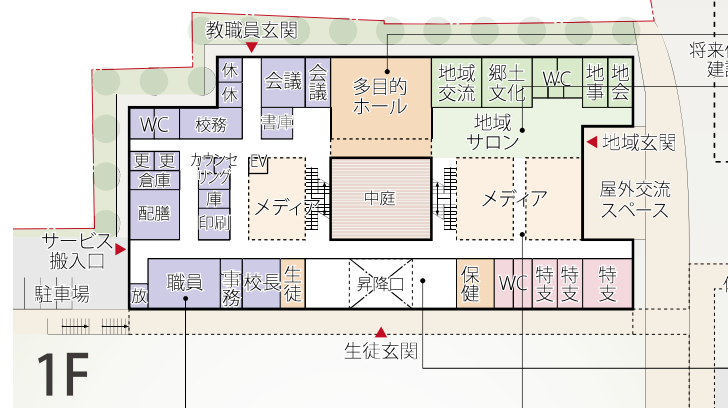
- 1階は鎌中のまとまりを象徴する中庭を中心に構成します。
- 中央の生徒昇降口の正面に中庭、その先に多目的ホールを配置し、空間の広がり一体感を形成します。
- 祭時には中庭を中心に、多目的ホールをはじめ全ての空間の一体利用が可能です。
- メディアスペースの主要部分は地域サロンと一体となって南側に表出し、鎌中ストリートから人々を迎え入れます。



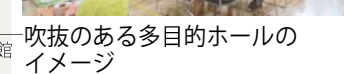
【1階から始まる空間の広がり】



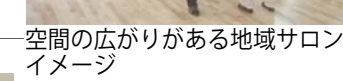
【祭時の多目的ホールと中庭の一体利用のイメージ】



グラウンド、校舎内に目が行き届く学校管理スペース



吹抜のある多目的ホールのイメージ



空間の広がりがある地域サロンのイメージ



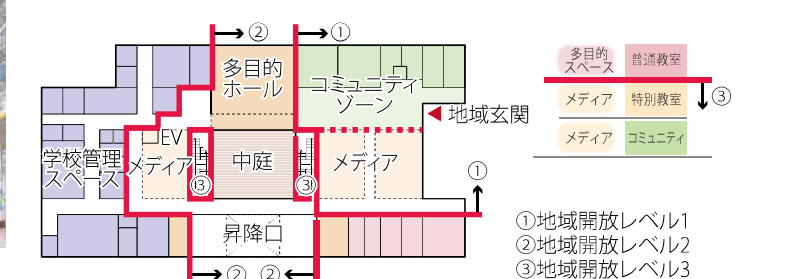
中庭に面して吹抜のある昇降口のイメージ



中庭に面した吹き抜けで明るいメディアスペースのイメージ

段階的に設定された地域開放エリア

- 地域開放エリアは使われ方によって段階的に設定します。通常校時は特に仕切りなく、日常開放は①〜③へと発展します。



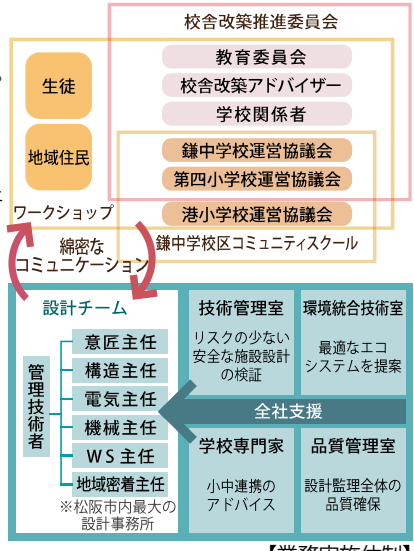
【2段階の地域開放エリアの設定】

特定テーマ(1) 改築計画の基本方針及び業務の実施体制、及び対話による設計プロセスの考え方



□業務の実施体制 — 確実な業務を遂行する業務フロー、動員計画
豊富な実績を有する地域密着型のエキスパート集団

- 代表企業は複数の公立中学校の設計監理実績を有し、地域と協働した学校づくりの経験が豊富な人員でプロジェクトチームを結成します。
- 中学校区の伝統・文化・気候風土など地域特性を熟知した地元設計事務所とのJV体制により、地域住民の目線に立った設計を行います。
- 文部科学省「小中一貫教育推進のための学校施設部会」の委員を務めた代表企業の学校建築専門家は、その豊富な経験を生かします。
- 手戻りのない確実な設計プロセス、的確な品質確保とコスト管理により、予算を遵守した業務を遂行します。



□基本方針 —【「あい」あふれる鎌中】を実現するために、私たちが大切にしたい4つのテーマと実施手法

1 学びと生活を支える充実した環境

- 生徒の多様な居場所、コミュニケーションの場を設定します。
- 心身の成長期にある生徒、及び教職員が長い時間を過ごす場にふさわしい、ゆとりと潤いある生活空間を設定します。

2 地域と連携し、校区の活性化に繋がるコミュニティの活動拠点

- 鎌中ストリートを中学校校舎に引き込み、生徒と地域の人の交流を促す構成とします。
- 将来計画でも鎌中ストリートが無限に成長できる提案とします。

3 安心・安全で地域に永く愛される施設

- 移動空間を変化に富んだ回遊性のある構成とすることで、わかりやすく安全で避難しやすい計画とします。
- 液状化や地下水位など地質情報を正しく把握し、構造計画を行います。
- 災害時の利用を考慮し、特別教室を全て2階に配置します。

4 敷地の特性を最大限に活かしたここにしかない中学校

- 敷地の特性、状況・環境・松阪らしさを徹底調査し、この場所だからこそできる鎌中ブランドを見出します。
- 課題抽出、計画条件分析を行い、最善案を追究します。

□対話による設計プロセス — 学校・地域・行政が協働し『あいを持って子どもたちを育てる教育施設』実現のためのプロセス

地域と連動した学校づくりにおける基本方針 地域との協働により「あい」を育む

- 基本構想、基本計画の内容を踏襲し、設計へとつなげます。
- 校舎改築委員会、ワークショップ、住民説明会等の関係者と共に、時機に別したテーマを設定し、合意形成のプロセスをデザインします。

地域と連動した設計 限られた回数のワークショップの中でも、効果的に地域のニーズを引出し、よりよい鎌中を実現します

みなさんの想いを引継ぎ設計します!

新校舎へのみなさんの思い「あい」あふれる鎌中

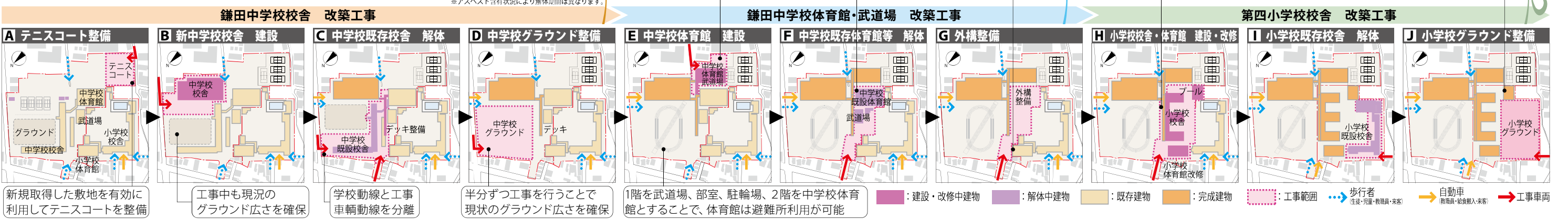
完成を祝う

特定テーマ(3-2) 将来の鎌中学校の屋内運動場・武道場、さらには隣接する第四小学校の建替え(建替えマスタープラン)

学校運営への支障を最小限に抑え、将来を見据えた建替計画

	平成30年	平成31年	平成32年
学校行事	7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
PHASE A	テニスコート整備	卒業式 ☆ 入学式 ☆ 運動会	卒業式 ☆ 入学式 ☆ 運動会
PHASE B	新中学校校舎 建設	新校舎供用開始	中学校既存校舎 解体*
PHASE C			中学校既存校舎 解体*
PHASE D	夏休み	冬休み	春休み

※アスベスト含有状況により解体期間は異なります。



- 工事中も日常利用を妨げない**
 - どの段階においてもグラウンドを現状以上の面積を確保するなど、学校運営に配慮した移行計画とします。
- 学校動線と工事車輻を分離した安全な計画**
 - どの段階においても生徒・児童・教職員・来客の動線と、工事車輻の動線を明確に分離し、安全に利用できる施設とします。
- 周辺環境に配慮した計画**
 - 工事車輻動線、周辺建物への日影や見あいの影響など、周辺環境に配慮した建物配置、高さの設定等を行います。